

第73回全日本大学バスケットボール選手権中国地区予選会 感染予防対策下の大会運営ガイドライン

中国大学バスケットボール連盟

1) 大会参加の条件

- ・ JBA を始めとする全日本大学バスケットボール連盟および中国大学バスケットボール連盟が策定したガイドラインに基づくこと。
- ・ 所属部員および指導者、チーム関係者に試合前2週間以内に新型コロナウイルスの陽性者および検査（PCR 検査など）中の濃厚接触者がいないこと。
- ・ 日々変化する政府の方針を確認して検討すること。
- ・ 所属大学が大会参加を認めていること。

2) 大会期間中の大会中止の条件

- ・ 大会期間中に大会関係者、所属部員および指導者、チーム関係者、審判に新型コロナウイルスの陽性患者が発生し、かつ感染拡大が確認された場合。
- ・ 緊急事態宣言や移動制限などが中国5県において発令された場合。
- ・ 政府や JBA、全日本大学バスケットボール連盟などの上位団体等からの指示があった場合。
- ・ その他、大会運営が困難であると判断された場合。

3) 大会中止等の検討方法

- ・ 大会開催中の場合、会長、副会長、理事長、副理事長、理事、事務局によって大会中止の検討を行う。
- ・ 大会開催前の場合、会長、副会長、理事長、副理事長で原案を作成し、理事会にて決定する。
- ・ 政府や JBA、全日本大学バスケットボール連盟などの上位団体等の方針に沿い健闘する。
- ・ 中国大学バスケットボール連盟が策定した本指針に基づく。

4) チーム内に罹患者や濃厚接触者が生じた場合

①練習に参加している学生・スタッフが罹患した（陽性となった）場合

- ・ 罹患した者は、原則として PCR 検査で陰性が確認されるまで出場停止（ただし、保健所が追加の PCR 検査を実施しないと判断した場合には、保健所の自宅待機指示期間までの出場停止とする）
- ・ 同チームに所属する者は、濃厚接触者とみなされる場合は2週間の出場停止。濃厚接触者とみなされない場合も2週間の健康観察を継続し、試合への参加は所属大学のルールによる。

②練習に参加している学生・スタッフが濃厚接触者とされた場合

- ・ 濃厚接触者とされた者は、2週間の出場停止。
- ・ 同チームに所属する者は、濃厚接触者の濃厚接触とみなされ、2週間の健康観察を求め、試合への参加は所属大学のルールによる。

③罹患した学生の所属するチームと対戦した場合

- ・ 濃厚接触者とみなされる場合は、2週間の出場停止。濃厚接触者とみなされない場合も2週間の健康観察を求め、試合への参加は所属大学のルールによる。

④学連委員、審判に関しては、JBA のガイドラインおよび選手・スタッフの対応に準じて判断する。

※濃厚接触とは、マスクなど飛沫感染防止の策をとらずに15分以上1m程度の距離で対面（同席）した場合を想定する。

※罹患患者や濃厚接触者が発生した場合の対応について、所属大学が独自に設定しているルールがある場合には、所属大学設定ルールを比較・検討し、厳しい項目を適用する。

※試合終了後に感染の疑いが生じた際には、必ず主催者である中国大学連盟事務局に連絡すること。

5) 新型コロナウイルス感染予防対策の注意点

【事前確認】大会開催までの感染予防対策

- 1) 本人に活動の意思があること
- 2) 大会参加に関する保護者の承諾（未成年者のみ）
- 3) 直近の2週間で健康状態に異常がなく、体調や体温測定に変調がない。以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - ・ 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象にはならないので、予防第一で対応を決定すること。また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には、中国大学連盟事務局に速やかに連絡を取り、指示を仰ぐこと。
- 4) 大会参加者全員に健康チェックシート（別紙①）を記録させ、大会当日エントリー時に大会本部（事務局）へ提出すること
- 5) 咳エチケット、手洗い、うがい、消毒の徹底を各チームで指導すること
- 6) 当日、発熱、のどの痛み、咳、倦怠感など、風邪と考えられる症状がある場合は参加を取りやめること
- 7) 風邪薬や解熱剤を服用しての参加は厳重に禁止とする
- 8) 会場利用が済めば、速やかに帰宅する（利用前後の滞在時間を短くする）こと
- 9) クラブ指導者（部長・監督・コーチ・トレーナー）の指導や管理事項を遵守すること
- 10) 大会に参加する上で、公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）が示す「活動再開に向けたガイドライン」または、中国大学バスケットボール連盟が示す注意事項を遵守すること

【健康チェックシートへの記載事項】

- ①氏名、生年月日、住所、連絡先（電話番号、Email アドレス）
 - ※個人情報の取扱いに注意する
- ②イベント2週間前から大会当日までの検温
- ③大会前2週間における以下の事項の有無
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳、のどの痛みなどの風邪症状
 - ・ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 臭覚や味覚の以上
 - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・ 新型コロナウイルス感染症養成とされた者との濃厚接触の有無
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

【開催期間】大会中における感染予防対策の注意事項

1) 体調管理に関する事項

- ・毎日の健康観察を記録すること
- ・来場する者（大会関係者含む）の健康チェックシートを提出すること
- ・体調不良や発熱のある者は会場に入らないこと
- ・マスクの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守すること
- ・各チームの選手やスタッフは、試合とアップ時間以外はマスクを着用すること

2) 大会会場の使用に関する事項

- ・無観客試合とし、入館するチーム関係者（スタッフ・選手）の人数を制限する
- ・会場入り口において検温を実施する（原則として 37.0℃以上で入場制限）
- ・更衣室の使用は、密集を避けて交替で使用する
- ・室内換気（扉と窓の開放）を徹底する
- ・体育館に設置されている冷水器および製氷機の使用は、原則として禁止する
- ・会場での食事は、原則として禁止する
- ・手指消毒液など、試合やアップ場で広く使用できるように準備し、参加者/選手、コーチ審判は頻繁に手洗を実施する。

3) 試合に関する事項

- ・原則として 1 日 1 試合とし、試合の間隔を空ける
- ・前試合のハーフタイム時のコートアップを禁止する
- ・ベンチを 2 列にするなど、会場施設の許す範囲内で密を防ぐ対策を行う
- ・試合開始直前の審判員および相手チームとの握手を行わない
- ・自チームでもハイタッチ、肩を組む、握手などの身体接触を避ける
- ・飲料の共有およびボトルの共用を禁止する
- ・定期的に接触場所（TO、得点版、試合球、ベンチ）の消毒を徹底する
- ・各試合終了後、試合で使用したチームベンチの消毒を済ませ、速やかに退館する
- ・TO や CK は、TO 器具やモップ等の消毒を行う
- ・審判は笛の代わりに、電子ホイッスルを使用しても良い。

【事後対応】大会終了後の感染拡大防止対策

1) 健康チェックリストの保管

- ・大会感染対策責任者（事務局）は、健康チェックシートの保存期間（少なくとも 1 ヶ月）を明記した上で保存すること。

※個人情報の管理には細心の注意を払い、保存期間終了後は確実に処理を行うこと。

2) 事後の健康状態の確認

- ・大会に参加したチームの代表者は、大会終了後 3 日以内に具合の悪い選手やスタッフがいなかったかを確認して、大会感染対策責任者（事務局）に報告すること。

3) 感染が判明した場合の対応

- ・運営スタッフ及びチームから大会終了後 1 4 日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、大会感染対策責任者（事務局）にその旨を報告すること。

6) 会場における感染対策

①諸室等

- ・各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- ・すべてのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・ドリンクを冷やすためのアイスボックス、イベントクーラーは使用しない。
- ・座席を設置する際に前後左右1.5～2m間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・喫煙所は設けない。

②手洗い場所

- ・手洗い場には、ポンプ型の液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないこと）。
- ・アルコール消毒液を設置する。

③トイレ

- ・便器の蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないこと）。
- ・アルコール消毒液を設置する。

④更衣室・ロッカールーム

- ・広さにゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。
- ・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については消毒する。
- ・換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。

⑤ゴミの廃棄方法

- ・会場等で発生したゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用する。
- ・ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をする。

7) 参考資料

- ・厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策基本的対処方針」（2021.5.28）
https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_h_20210528.pdf
- ・（公財）日本バスケットボール協会「コロナ対策チームからの重要メッセージ」（2021.1.20）
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/message_covid-19_20210120.pdf
- ・（公財）日本バスケットボール協会「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第3版」（2021.1.20）
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_3rd_20210120.pdf

健康チェックシート

本健康チェックシートは、中国大学バスケットボール連盟が主催する各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、大会参加者の健康状態の確認を目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、中国大学バスケットボール連盟は、厳正なる管理のもとに保管し、チーム関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のために利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

チーム名		代表者連絡先	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		電話番号	
		E-mail	
住所	〒		

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/	℃	/	℃	/	℃	/	℃
/	℃	/	℃	/	℃	/	℃
/	℃	/	℃	/	℃	/	℃
/	℃	/	℃	/	℃	/	℃

<大会前2週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入して下さい

チェック項目	チェック欄
①平熱を超える発熱がない	
②咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない	
③だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④臭覚や味覚の異常がない	
⑤体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥新型コロナウイルス感染症養成とされた者との濃厚接触がない	
⑦同居家族や身近な知人に感染を疑われる方がいない	
⑧過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	
⑨その他、気になること（以下自由記述）	

(大会参加者が未成年の場合) 保護者 確認欄

保護者氏名		確認日	西暦 年 月 日
電話番号		E-mail	